



財団法人 倉敷中央病院

倉敷リバーサイド病院



# ふれあい



●2006 ●Winter ●Vol.11 ●



## 表紙によせて

3階病棟は、内科・小児科病棟です。特徴は、広々としたスタッフステーションと、新しく出来た身体の負担が少なく入浴出来る坐シャワーと、寝たまま湯舟に浸かることの出来るお風呂を備えたシャワー浴室です。この浴室は、空調設備が整っており、寒さを感じることなく身体の芯から温かく入浴していただけるものです。お風呂を心待ちにくださる患者様も多く、きれいになってくださいと心を込めて介助させていただいています。私たちメンバーは、年齢層はさまざまですが、元気な明るいスタッフが多く、「笑顔で接することと、たくさんのやさしい声掛け」をモットーに患者様の笑顔が一番の喜びとして毎日看護を行なっています。 3階病棟 田上 直美

## 理念と基本方針

- <理念> 私たちは医療の担い手としての責務を自覚し研鑽を重ね、「人と人とのふれあい」を大切に、地域の住民の皆様に一層の信頼を得られる医療を提供し地域社会に貢献します。
- <基本方針>
1. 患者様の立場を尊重し、納得と同意に基づく医療を実行します。
  2. 医療技術と知識の習得に努め、良質で安全な医療を提供出来るよう努めます。
  3. 地域の皆様の診療、健康保持・増進に努めます。

# 患者様中心の医療の実現に向けて

倉敷リバーサイド病院も開院後まる三年を迎えようとしています。

一昨年より入院病棟の改築をしてきましたが、こちらはほぼ完成しました。今春には外来棟、外来2階へのエレベーター設置、リハビリテーション室改修が完成する予定です。環境設備は完成しつつあります。

東京都が2004年に東京発医療改革の一環として『患者中心の医療』の実現に、「あなたはどのようなことが必要だと思いますか?」というアンケートを行っています。その結果、438人のモニターから655件の意見が寄せられました。その中でトップは268件を集めた“医療サービス体制の充実”で、この中には“利用しやすい診療体制”、“医師の質の確保・医師教育”がどれも70件以上集めています。次に“医療機関情報が得られること”が212件、“医師・医療者側の対応がよいこと”が125件と続きます。

この結果でもわかるように患者さまは医療体制の充実、医療機関情報が得られること、医師・医療者側の対応がよいことを強く望んでおられます。これらのことに気を配った診療を行い、もっとよりよい医療を提供できるようにスタッフ一同努め、当院が益々地域の皆様に信頼される病院となるよう努力していく所存です。

皆様方のご健康と、ご発展を祈念しますと共に今後ともご支援賜りますよう宜しくお願い致します。



島村 淳之輔 院長

## スケルトンエレベーター現る!



スケルトン(骸骨)エレベーター是非ご利用下さい

この度の外来改装で中央玄関右手にエレベーターを設置いたしました。今まではエレベーターまでが遠く、大変ご不便をおかけいたしておりましたが、これからは、外来棟2階への移動が便利になるのではと思います。

透明で機械が丸見えのためご利用を敬遠される方もいらっしゃいますが、頑丈にできておりますのでご安心してご利用くださいませ。ご心配でしたら、お近くのスタッフまでお声をおかけいただければご案内させていただきます。

診療サービス 中田 恭子



# Dr. だより

## 冬の感染性胃腸炎について

冬季に入り、嘔吐、下痢症が増加しています。臨床的にウイルス性胃腸炎と診断することが多いようです。

一般的に食中毒は夏場に多く発症し、細菌性胃腸炎が多く、冬季にはウイルス性胃腸炎が多いとされています。

厚生労働省の統計によると冬季食中毒の病原体として、ノーウォークウイルス（N.V=ノロウイルス）が50%、残りの15%がサルモネラ菌、ウェルシュ菌、5%がカンピロバクター菌、病原性大腸菌となっています。

最近の傾向として季節変動によらないで夏にみられる食中毒も通年発生しているようです。その理由として食材の60%を輸入している現状や、室温上昇による変化、冷凍食品の増加などの生活環境の変化が関与していると考えられています。

ヒトのウイルス性下痢症の原因ウイルスとして、ロタウイルス、アデノウイルス、ノーウォークウイルス(N.V)、サッポロウイルス(S.V)、アストロウイルス(H.Astr)などがあり、その中でN.V、S.V、H.AstrはΦ30nmの小型球形ウイルスの一群で食中毒の原因として重要とされています。



内科 井上 博人



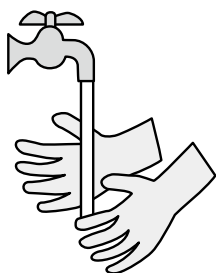
感染頻度の高いN.Vについてお話しします。症状は約12~72時間の潜伏時間で吐気、嘔吐が生じ空腸上部の炎症による下痢で発症します。発熱は軽度です。治療はウイルスに効力のある薬剤はないので補液などの対症療法にて、数日で改善されていることが多いようです。

原因食品として貝類（カキ）の関与が25%以上とされますが、他の二枚貝での感染もみられます。海水中のウイルスがカキの中腸腺で濃縮蓄積されるため、これを生、又は加熱不足で食することにより発症すると考えられます。しかし最近、不顕性感染の調理従業者を介しての汚染された食品に起因すると考えられる事例が増えています。



美味しいカキですがご注意ください！

### 予防！



85℃ 1分!



さらに一方、施設内に発生するヒトからヒトへの感染による食品を介さない感染が問題となっております。予防対策としては、汚染された糞便、吐物がヒトを介して食品を汚染させることにより生じることから、食品取扱者の手洗いの徹底、手袋着用が望まれます。またウイルスの汚染物の乾燥による空気感染が成立するため、室内で汚染物を乾燥させないことが重要です。

生食用のカキは浄化海水により養殖処理されていますが、加熱用のものは85℃、1分以上の十分な加熱処理が必要とされています。

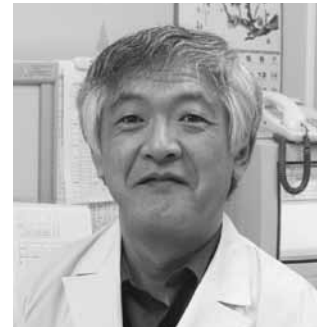
冬のカキを食されるときには適正に調理し、美味しく召し上がって下さい。

# 新 任 Dr. 紹 介

平成17年10月1日付で **馬庭先生** 健康管理センター長に着任。

先生は、医学部卒業後、十数年を大学病院に在籍され先端医療にたずさわられました。その後お父様の体調不良をきっかけに、実家に近い兵庫県の山間部の診療所に勤務され今回倉敷リバーサイド病院健康管理センター長として着任されました。

先端医療から住民密着型の地域医療にたずさわられる中、脈波カオスを使った健康診断システムを開発され工学博士も取得されたチャレンジ精神旺盛な先生です。そこで先生のご紹介にいくつかの質問をさせていただきました。



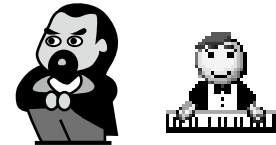
健康管理センター長 馬庭 芳郎

ふれあい隊：先生のお生まれはどちらですか？

馬庭先生：生まれも育ちも兵庫県の但馬地方です。山奥で冬は雪が多くスキーもできる場所ですね。今年は何年より屋根の雪下ろしが大変でしょうね。その点晴れの国岡山は、天候に恵まれ温暖でいい場所ですね。

ふれあい隊：倉敷に来られたのは気候がいいからでしょうか？

馬庭先生：ええそれもありますが、妻の実家がこちらなので岡山へ…



ふれあい隊：先生の趣味は？

馬庭先生：学生の頃から音楽は好きで、中高生ではロック系のキーボードをやったり、大学ではグリークラブでテノール、今はブルックナーを聞いたりしますね。しかし本業は漁師なんです。主な漁場は、明石周辺と日本海です。



ふれあい隊：なるほど、ロックとは意外な一面が(漁師?)。ところで先生の開発された脈波カオスを使った健康診断システムについて少しお話していただけますか？

馬庭先生：大学病院に籍を置き、先端医療にたずさわると、人々を健康にするのは先端医療と思っておりましたが、地域医療の現場を知り、“病気”とは診断されないが、不健康な人が実にたくさんいることを感じました。不健康な人の悩みを解決するのはトータルで診る統合医療だと思ったのです。病気の前段階とも言えるストレスを診断し緩和できれば病気の予防にもつながります。「不健康」な人を「健康に」「健康な人」をより「健康に」をモットーに取り組んでいます。

ふれあい隊：それはどんな装置なんですか？

馬庭先生：手の指先に透過型センサーをつけて20秒ほど脈波を測るだけで、解析された加速度脈波の波形の特徴により、病態の重症度やストレスの状態が読み取れます等々……。

ふれあい隊：ふむふむ…長くなりそうですので、次回先生の「Drだより」にご紹介お願い致します。是非一度体験したいです。(ドキドキ…)

今先生が興味を持たれていることは何ですか？お聞かせ下さい。



馬庭先生：“ホメオパシー”といわれる統合医療の分野に興味を持っています。西洋医学にはない逆転の発想でヨーロッパでは一般に普及しているんです。これは病気の症状と同じような症状を引き起こす物質をごく微量だけ体内に入れることで、逆に病気を治そうという治療法です。西洋医学、現代医学は原因を特定し、症状を抑えることで病気を治します。ところがホメオパシーは人間の治癒力を助ける優しい治療なんです。



ふれあい隊：へえ～！毒をもって毒を制すですね。意欲満々の先生の今後にご期待します！ありがとうございました。

ふれあい隊：加速度脈波とカオスに興味をお持ちの方は先生のホームページを一度訪れて下さい。  
(<http://www7.ocn.ne.jp/~maniwa/>) Mr.漁師マニワの姿もみれるかも…

# リハビリテーションシリーズ

## その1 人間らしく生きる権利の回復



リハビリテーション(rehabilitation)とは、「再び適した(資格ある、権利ある)状態にする」という意味です。

現在では、「障害者人間らしく生きる権利の回復(全人的復権)こそがリハビリテーションであり、具体的には障害を予防するとともに、障害のある人々の最適な身体的、精神的、社会的、職業的、経済的な能力を発揮できる状態にし、可能な限り高いQOL(生活の質)の向上を伴った『全人的復権』を目指して行われる政策を含めた総合的援助対策とその実践であり、また、障害者自身、その家族、そして彼らの住む地域社会はリハビリテーションに関係する諸種のサービスの計画と実施に関与しなければならない」といわれています。

リハビリテーションは、ふつう次の3種類に大別されます。

### 〈医学的リハビリテーション〉

主に医療機関において医師、看護師、理学療法師、作業療法師等のリハビリテーションスタッフが個別リハビリテーション計画を策定し、利用者の同意を得て、サービスの提供を行います。これは、自立した生活を目指す一連の医療過程であり、他のリハビリテーション分野の効果を左右する重要な意義を持っています。具体的には、障害の予防、早期発見から診断、治療、総合評価、看護、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、心理療法、食事介入、義肢装具、ソーシャルワークといったスタッフのチームワークをもって行われ、生きがいを持った自立生活に至るリハビリテーション全過程に関わるサービスの基調をなすものです。



最近では、地域を基盤とした医学的リハビリテーション・サービスを提供する仕組みを「リハビリテーション医療」と呼び「急性期リハビリテーション医療」、「回復期リハビリテーション医療」及び「維持期リハビリテーション医療」の3つの階層に分け、リハビリテーション・サービス体制の整備が進められています。

### 〈職業リハビリテーション〉

医療機関や福祉施設などにおいて、障害者が、職業的自立、あるいは社会的活動への参加を実現していくことを目標に行われます。

### 〈社会リハビリテーション〉

社会リハビリテーションとは、福祉施設において、障害に配慮した生活の仕方や健康管理、社会生活に必要な外出や交通機関の利用など社会生活力を高めるための生活支援などを行っています。

## Q&A

先日「どうしたらリハビリテーション(理学療法、作業療法)を受けれるの?」と質問を受けました。理学療法、作業療法を受けるには、まず各科を受診し、主治医より、リハビリテーション科医師に紹介をしてもらいます。そこで、リハビリテーション科医師の診察・処方により治療が開始されます。私たちリハビリテーションスタッフは、患者様を中心に適確かつ密度の濃いリハビリテーションを実践いたします。今、リハビリテーション室はより先進的で高度なリハビリテーション医療をご提供できますよう進化しております。

もし、ご相談がございましたら、リハビリテーション室スタッフまでお声かけください。

リハビリテーション室 若松 剛

## シャワー浴室OPENしました!

### 癒しの空間



寝たまま入浴でき、パネルヒーターでホカホカです



昨年末より3階にシャワー浴室を新設しました。介助を要する入院患者様にもご利用し易いように機能性・安全性を考慮した作りとなっております。



洗面台、洗髪シャワー台もとっても充実しました。



### 快適な空間



座シャワーで楽チーン

### 新機能満載!

座シャワーで座ったまま、頭のテッペンから足の先まで、全身くまなく洗えます。

フットバスで毎日いつでも、足が洗え、爽快感が味わえます。



フットバス

広々とした明るい浴室で心も体も癒して下さい。



## ジングルベル♪ ジングルベル♪ 鈴が鳴る～



ハンドベル演奏うまくできました!



12月17日、5階東にてクリスマス会を行いました。今回、患者様3名によるハンドベルの演奏、曲目“ジングルベル”をメインにプログラムを計画しました。ハンドベルの演奏は、患者様も始めてのことでしたが、練習の成果もあり上手く演奏できました。またピンゴゲームも盛り上がり、プレゼントには涙される患者様もおられて、今年最後の病棟行事を患者様と楽しむ事ができました。

5階東病棟 中野 由美



## にぎやかな餅つき大会でした！

昨年12月18日、病院1階ロビーにて毎年恒例のもちつき大会&ふれあいバザーが行われました。前夜の天気予報は、大雪で大変心配していましたが、少し肌寒い程度で大勢の患者さまやご家族の方、地域の方々に集って頂きにぎやかなイベントとなりました。



バルーンアートのコーナーでは、ちびっ子をはじめ大勢の人達が楽しそうにいろいろな動物や花などを一生懸命作っていました。もちつき大会では、男性だけではなく少し手伝ってもらいながらではありますが、女性やちびっ子の参加があり和やかなものとなりました。

薬剤室 丸尾 陽子

## おロスッキリ、キレイキレイ



『口腔ケアの更なる充実をめざして』  
全病院大会での発表風景

### KMC活動院内発表大会に参加して…

平成18年1月10日第2回KMC活動院内発表大会を開催しました。

患者様満足度の向上、医療事故防止、業務改善等といったテーマで取り組み、今まで最多の13グループより発表が行われました。発表会は多くの聴衆者を集め、各グループの熱のこもる発表が行われました。今回のKMC活動発表大会では5階西病棟スマイル5「口腔ケアの更なる充実をめざして」が見事、院長賞に輝きました。社会の高齢化が進み、入院患者様で寝たきりやADL(日常生活動作)低下の患者様が増加しています。誤嚥性肺炎の防止・口腔疾患の予防・QOL(生活の質)の向上を目差した口腔ケアを歯科医、歯科衛生士と看護師の連携で口腔ケアの体制整備を行うために、口腔ケア業務基準の作成、標準看護計画の作成、またその計画を基に口腔ケアセットを作成する等に取り組んだ活動が高く評価されました。この発表は、当院を代表して倉敷中央病院で行われた全病院大会に参加、服部看護師により、堂々と発表され、好評を得ました。

放射線検査室 吉岡 繁



口腔ケアセット



# 外来診療のご案内

(※診療開始：9時)

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	15:30～16:30	○	○		○	○	
	16:30～18:30	○		○		○	
神経内科	8:30～11:30	○	○				
	15:00～17:00			○		○	
外科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	15:30～16:30			○	○		
	16:30～18:30			○			
整形外科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	15:30～16:30	○		○			
	16:30～18:30	○		○			
小児科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	15:30～16:30	○	○	○	○	○	
	16:30～17:30	○		○		○	
リハビリテーション科	14:30～17:00	○			○	○	
眼科	8:30～11:30			○		○	
耳鼻咽喉科	8:30～11:30						○
	16:30～18:30	○					
歯科	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
	13:30～16:30	○	○	○	○	○	
	16:30～18:30	○				○	

## 交通アクセス



### 交通機関をご利用される方へ

両備バス<倉敷リバーサイド病院線>

・倉敷駅～大高～連島～倉敷リバーサイド病院 約30分 ・倉敷駅～中島～大橋～倉敷リバーサイド病院 約30分

JR「新倉敷駅」より、タクシーで約15分。 JR「倉敷駅」より、タクシーで約25分。

### 自家用車をご利用される方へ

山陽自動車道「玉島IC」より、約20分。

### 高梁川より西側の方

- 霞橋を目標にこられる場合  
霞橋を渡って水島方面へ左折、JFE(旧川鉄)鶴の浦団地西側(高梁川堤防の下)の道を南下して下さい。
- 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合  
水玉料金所を出てすぐに右折して側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。

### 高梁川より東側の方

- 霞橋を目標にこられる場合  
429号線(旧2号)を橋の手前で水島方面へ左折、JFE(旧川鉄)鶴の浦団地西側(高梁川堤防の下)の道を南下して下さい。
- 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合  
水玉料金所の手前で左側側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。

## 編集後記

今年の冬は寒い!4月まではゴルフは冬眠状態と思っていたら、このところの暖かさ、ゴルフバックを持って練習に行ってきました。これも温暖化の影響か?温暖化対策には原子力は不可欠か?など思いを巡らせています。  
放射線検査室 近藤 義昭

いよいよワールドベースボール・クラシック(WBC)が開催されます。王ジャパンの「スモールベースボール」がメジャーに通用するのか楽しみです。  
薬剤室 阿河 輝雄

最近見た映画で、莫大な財産を持つチョコレート工場のオーナーが自分の選んだ子供に工場を譲るといふ、ありふれた物語なんですが、子供はお金より、家族の愛を選択する心温まる映画でした。忘れていたことを思い出し、映画ってほんとにいいなと思いました。  
臨床検査室 渡部 ゆかり

倉敷リバーサイドのホームページがリニューアルしました。

<http://www.kchnet.or.jp/krh/>

是非、アクセスして役に立つ情報をGetして下さい。

財団法人 倉敷中央病院  
倉敷リバーサイド病院

〒712-8007

倉敷市鶴の浦2丁目6番11号

TEL 086-448-1111

FAX 086-448-1251

URL <http://www.kchnet.or.jp/krh/>

発行者：島村 淳之輔

編集責任者：松下 忠史

70900920©